

福井県産 *Hoplothrips* 属3種の記録

柴田 智広*

Note on *Hoplothrips* (Thysanoptera, Phlaeothripidae) from Fukui Prefecture

Tomohiro SHIBATA*

1. はじめに

アザミウマは体長0.8~7mm程度の昆虫で、花・葉・茎・根などの植物組織上、森林などの堆葉層、枯葉・枯枝など枯死した植物上などに棲息する。現在日本に4科410種以上が知られているが(塘, 2011), これまで福井県では僅かに3種が知られているのみであった(岸本・佐々治, 1998)。柴田(2015)では福井県産オオアザミウマ亜科 (Idolothripinae) に属する7種を報告したが、福井県における *Hoplothrips* 属のアザミウマの分布状況は未知である。本報ではこれらについて調査を行い知見を得たので報告する。

Hoplothrips 属 (アザミウマ目クダアザミウマ科) は枯れ枝や樹皮下に生息する菌糸食のアザミウマで、日本に17種が分布している(榎本, 2016)。*Hoplothrips* 属は多くの種で複雑な多型(長翅・短翅・無翅)があることが特徴である(Okajima, 2006)。外国の種では、この多型現象は闘争・繁殖能力と移動分散能力のトレードオフに起因していることが示唆されており、生態学的に興味深いグループである(Crespi, 1986, 1988a, 1988b)。

同定に際しては雌雄それぞれに特有の形質(例えば雄の腹部第8節の腺域や雌の触角の形態など)が重要になっていることがあるため、雌雄両方を検討する必要がある。また、同種であっても翅型によって著しく形態が異なるため、全ての型を検討するのが理想的である。

本報では現在までに著者が福井県内で採集した *Hoplothrips* 属3種について報告する。

2. 方法

採集はピーティング法(枯れ枝の表面に生息する種を採集する場合)及びルッキング法(樹皮下に生息する種を採集する場合)で行った。得られたアザミウマは永久プレパラート標本とし、光学顕微鏡を用いて同定した。標本作成方法と同定は基本的にOkajima(2006)に従った(永久プレパラート標本用の封入剤

にカナダバルサムではなくソフトマウント 和光®を使用した点のみ異なる)。標本は著者が保管している。

3. 結果

現在までに、県域から *Hoplothrips* 属に属する3種のアザミウマを得た。各種の国外・国内、福井県内の分布情報とともに採集地・棲息場所及び翅型を示す。また、和名のあるものには和名を付した。

Hoplothrips flavafemora Okajima

福井市羽坂町：1♂(短翅型), 2♀(短翅型), 21.IV.2012.
分布：本州・小笠原(父島・母島)・四国・宮古(宮古島)・八重山(石垣島)

枯れ枝(ブナ科の落葉広葉樹と思われる)のピーティングにより得られた。

Hoplothrips fungi Okajima

坂井市三国町雄島：1♂(短翅型), 1♀(長翅型), 16.VI.2011.
敦賀市中池見：4♀(長翅型1, 短翅型3), 15.VI.2013.
あわら市刈安山：1♀(短翅型), 26.VII.2015.
分布：北海道・本州・四国；旧北区

枯れ枝のピーティングにより得られた。

クチキクダアザミウマ *Hoplothrips japonicus* Okajima

坂井市三国町雄島：1♂(短翅型), 16.VI.2011.
南越前町広野：3♂(短翅型), 1♀(短翅型), 28.VII.2011.
敦賀市山：1♂(短翅型), 4♀(短翅型), 18.VIII.2011.
分布：本州・四国・九州；ハワイ・北米

坂井市三国町雄島、敦賀市山では枯れ枝(シイ・カシ類と思われる)のピーティングにより得られた。南越前町広野では枯れ木の樹皮下から得られた。大型の多孔菌からの報告例がある種だが、福井県内では枯れ枝・枯れ木から採集された。

*福井市自然史博物館友の会 〒918-8006 福井市足羽上町147
E-mail: idolothripinae@gmail.com

*Friends Membership of Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui, Fukui, 918-8006 Japan.

4. 終わりに

本報では3種の*Hoplothrips*属を報告した。*Hoplothrips*属は本州から15種もの記録があり(榎本, 2016), 調査を継続すれば福井県産の記録種数は増えるであろう。

菌食性クダアザミウマ科の翅型多型は, 一般に種内においては餌資源の状況により決定され, 餌の状態の悪化する夏季は長翅型が増えると考えられている(中尾, 2004)。今回, 夏季に採集された個体でもほとんどが短翅型であったが, 餌資源との因果関係は不明である。

*Hoplothrips*属の翅型が, 季節・菌類及びその他の要因とどのような関係があるのか, 機会があれば検討してみたい。

追記として, あわら市刈安山と福井市兎越山からそれぞれ1♂ずつ, 記載されている17種と特徴の一致しない個体が採集されている。これらの所属は今のところ不明である。

謝 辞

本稿の執筆・投稿にあたり福井市自然史博物館の梅村信哉氏にさまざまなアドバイスをいただいた。この場を借りて感謝申し上げる。

引用文献

- Crespi, B.J., 1986, Territoriality and fighting in a colonial thrips, *Hoplothrips pedicularius*, and sexual dimorphism in Thysanoptera. *Ecological Entomology*, (11), 119-130.
- Crespi, B.J., 1988a, Risks and benefits of lethal male fighting in the polygynous, colonial thrips *Hoplothrips karnyi*. *Behavioral Ecology and Sociobiology*, (22), 293-301.
- Crespi, B.J., 1988b, Adaptation, compromise and constraint: the development, morphometrics and behavioral basis of a fighter-flier polymorphism in male *Hoplothrips karnyi*. *Behavioral Ecology and Sociobiology*, (23), 93-104.
- 岸本修・佐々治寛之, 1998, アザミウマ目 THYSANOPTERA, 福井県自然環境保全研究会昆虫部会編, 福井県昆虫目録第2版, 福井県, P63.
- 榎本雅美, 2016, Order THYSANOPTERA 総翅目(アザミウマ目). 日本昆虫目録編集委員会編, 日本昆虫目録第4巻準新翅類, 権歌書房, 44-85.
- 中尾史郎, 2004, アザミウマの翅多型の進化生態. 藤崎憲治・田中誠二編著, 飛ぶ昆虫, 飛ばない昆虫の謎, 東海大学出版会, 121-137.
- Okajima, S., 2006, The Insect of Japan Vol.2., The Suborder Tubulifera. Touka Shobo, 720p.
- 柴田智広, 2015, 福井県産オオアザミウマ亜科の分布記録. 福井市自然史博物館研究報告, (62), 81-82.
- 塘忠顕, 2011, 農作物のアザミウマの見分け方<総説>.

アザミウマ類の見分け方, 日本植物防疫協会, 1-5.

Note on *Hoplothrips* (Thysanoptera, Phlaeothripidae) from Fukui-Prefecture

Abstract

Three species of *Hoplothrips* (Thysanoptera, Phlaeothripidae) from Fukui-Prefecture, Central Japan, are listed.